



DNW-25017 の概要

課題名 : がん特異的細胞表面受容体を標的にした創薬の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

吉見 昭秀 (国立研究開発法人国立がん研究センター研究所)

ステージ : 検証ステージ I

【標的疾患】

乳がん、その他がん

【創薬標的】

がん細胞の増殖に関わる GPCR

【創薬コンセプト】

CRISPR dropout screening で見出した発現プロファイルのがん特異性が高い GPCR

【モダリティの設定】

低分子化合物、抗体等

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) PI 独自の GPCR 網羅的 CRISPR dropout screening を実施し、がん細胞での発現が特異的に高い GPCR を治療標的候補として見出した。
- 2) これら分子の siRNA を乳がん細胞株に導入したところ、強い増殖抑制効果が認められた。

【科学的、技術的な優位性】

治療標的候補として選定した GPCR はがん検体で高発現が認められており、乳がんやその他がん種における新規 actionable gene として、既存治療抵抗性のがんに対する治療選択肢の提供につながる可能性がある。

【支援ステージにおける目標】

- 1) 標的 GPCR を選定し、腫瘍増殖促進メカニズムについての知見を得る。
- 2) 標的疾患として至適がん種を絞り込む。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。